

PEM036-22

会場:ファンクションルームA

時間: 5月26日09:45-10:00

## 太陽フレア発生は予知できるか？

### Can we predict the onset of solar flare?

草野 完也<sup>1\*</sup>

Kanya Kusano<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>名古屋大学太陽地球環境研究所

<sup>1</sup>STEL, Nagoya Univ.

太陽系最大の爆発現象の一つである太陽フレアは地球環境にも多大な影響を与える。それ故、その発生予測は宇宙天気予報にとって強力な方法論となりえる。しかし、物理ベースのフレアモデルはいまのところその発生を十分に予知することはできていない。本発表において、我々はひのデータと様々な仮想的擾乱を境界条件として加えた新しいフレア発生予測手法について考察する。まず、2006年12月13日フレアの再現実験の結果を示すと共に、その結果が擾乱の場所と強さにどれ程依るかを解析する。その結果に基づき、活動領域の「構造的脆弱性」とエネルギー解放効率の関係を調べることで、物理ベースモデルによるフレア発生予測の可能性について議論する。

キーワード:宇宙天気,太陽フレア,予知,シミュレーション,モデリング

Keywords: space weather, solar flare, prediction, simulation, modeling